

# 2022年2月期 第2四半期

(2021年3月1日～2021年8月31日)

## 決算説明会

わらべや日洋ホールディングス株式会社  
(2918)

2021年10月13日



## グループ理念

私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、  
お客様の**健康で豊かな食生活**に貢献します。

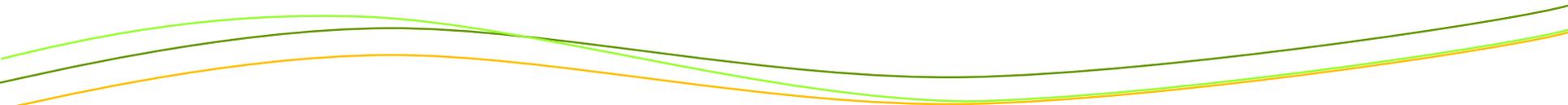
## 経営理念

お客様のニーズを追求し、変革を推進します。

コンプライアンスを実践し、透明性の高い経営を行い、

社会から信頼される企業を目指します。

人を育て、働きがいのある、環境にやさしい企業を目指します。



# 2022年2月期第2四半期 連結業績



# 2022年2月期第2四半期連結業績

(単位:百万円)

	'21年2月期 上期	'22年2月期上期		前年 同期比	期初 予想比
	実績	期初予想	実績		
<b>売上高</b>	96,591 (100.0)	99,000 (100.0)	<b>95,980</b> <b>(100.0)</b>	△610 <△0.6>	△3,019 <△3.1>
<b>営業利益</b>	1,205 (1.2)	2,700 (2.7)	<b>3,192</b> <b>(3.3)</b>	1,987 <164.9>	492 <18.3>
<b>経常利益</b>	1,535 (1.6)	2,950 (3.0)	<b>3,928</b> <b>(4.1)</b>	2,392 <155.8>	978 <33.2>
<b>税金等調整前 四半期純利益</b>	440 (0.5)	2,700 (2.7)	<b>3,645</b> <b>(3.8)</b>	3,204 <727.2>	945 <35.0>
<b>四半期純利益 (当社株主に帰属)</b>	△247 (△0.3)	1,660 (1.7)	<b>2,435</b> <b>(2.5)</b>	2,682 <—>	775 <46.7>

\* ( ) 内は売上比率 (%)、<> 内は増減率 (%)、期初予想は2021年4月9日発表の予想数値

# セグメント別売上高の状況(前年同期比)

(単位:百万円)

■食品 ■食材 ■物流 ■食品製造設備 ■その他

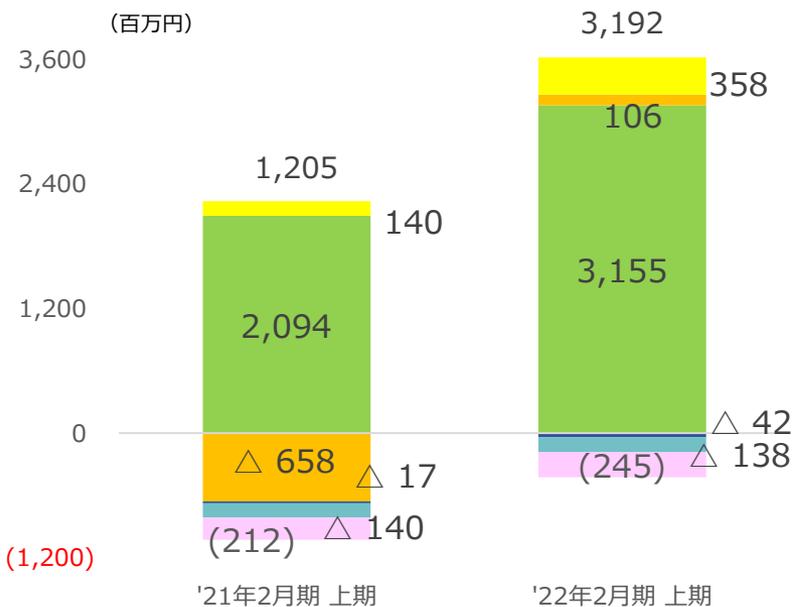


	'21年2月期 上期	'22年2月期 上期	増減	増減要因
<b>売上高 合計</b>	96,591	<b>95,980</b>	△610 <△0.6>	一部持ち直しあるも人材派遣 関連撤退影響で微減収
食品 関連	79,817	<b>81,730</b>	1,912 <2.4>	前年同期の大幅な 販売減から一部回復
食材 関連	7,395	<b>6,898</b>	△496 <△6.7>	水産加工品の 取扱高減少
物流 関連	6,506	<b>6,724</b>	217 <3.3>	共同配送の取扱高増加
食品製造 設備関連	653	<b>588</b>	△64 <△9.9>	前期にあった案件の剥落な どにより減少
その他 (人材派遣関連)	2,218	<b>38</b>	△2,180 <△98.3>	6月に人材派遣関連事業 から撤退

\* <> 内は増減率 (%)、売上高は外部顧客に対する売上高

# セグメント別営業利益の状況(前年同期比)

■ 食品 ■ 食材 ■ 物流 ■ 食品製造設備 ■ その他 ■ 全社費用・消去

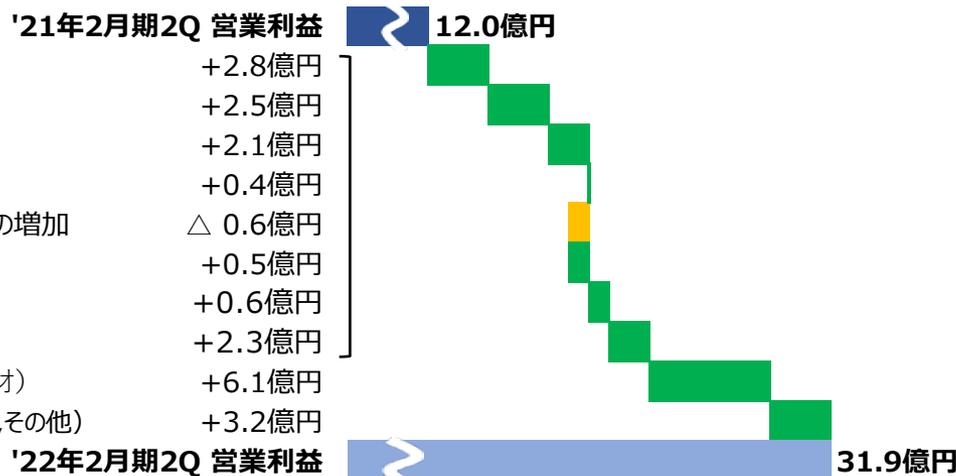


(単位:百万円) \* <> 内は増減率 (%)

	'21年2月期 上期	'22年2月期 上期	増減
<b>営業利益合計</b>	1,205	<b>3,192</b>	1,987 <164.9>
食品関連	2,094	<b>3,155</b>	1,060 <50.6>
食材関連	△658	<b>106</b>	765 <->
物流関連	140	<b>358</b>	217 <154.4>
食品製造設備関連	△17	△42	△25 <->
その他 (人材派遣関連)	△140	△138	1 <->
全社費用・消去	△212	△245	△32 <->

**前年同期比  
+19.8億円  
増減要因**

- |                |                 |                       |        |
|----------------|-----------------|-----------------------|--------|
| 食品<br>関連<br>事業 | 感染症の影響縮小        | +2.8億円                |        |
|                | 商品規格見直しによる改善    | +2.5億円                |        |
|                | 人件費上昇の抑制        | +2.1億円                |        |
|                | 工場再編影響          | +0.4億円                |        |
|                | 技能実習生関連一時費用等の増加 | △0.6億円                |        |
|                | 水道光熱費の減少        | +0.5億円                |        |
|                | 食品関連事業 国内その他    | +0.6億円                |        |
|                | 食品関連事業 海外       | +2.3億円                |        |
|                | その他             | 棚卸資産評価損等剥落 (食材)       | +6.1億円 |
|                |                 | その他 (食材,物流,製造,人材,その他) | +3.2億円 |



# 期初予想との差異要因

(単位:百万円)

	2022年2月期 上期		予想差異
	期初予想	実績	
売上高	99,000 (100.0)	<b>95,980</b> <b>(100.0)</b>	△3,019 <△3.1>

## 【差異要因】

食品関連事業	△24.4億円
おにぎり	△13.1億円
弁当・チルド弁当	△13.5億円
海外事業	+8.1億円
食材関連事業	△2.6億円
食品製造設備関連事業	△3.1億円

(単位:百万円)

	2022年2月期 上期		予想差異
	期初予想	実績	
営業利益	2,700 (2.7)	<b>3,192</b> <b>(3.3)</b>	492 <18.3>

## 【差異要因】

食品関連事業	+3.5億円
新型コロナウイルス感染症影響	△4.8億円
商品規格見直し	+2.5億円
工場再編効果	+2.3億円
人件費上昇の抑制	+1.6億円
海外事業	+1.2億円
食材関連事業	+1.0億円
売上総利益率改善、経費見直し効果	

\* ( ) 内は売上比率 (%)、<> 内は予想比増減率 (%)、期初予想は2021年4月9日発表の予想数値

# 営業外損益・特別損益の状況(前年同期比)

(単位：百万円)	2021年2月期 上期	2022年2月期 上期	増減
営業利益	1,205 (1.2)	<b>3,192</b> <b>(3.3)</b>	1,987 <164.9>
営業外収益	518 (0.5)	<b>928</b> <b>(1.0)</b>	410 <79.1>
営業外費用	188 (0.2)	<b>193</b> <b>(0.2)</b>	4 <2.7>
経常利益	1,535 (1.6)	<b>3,928</b> <b>(4.1)</b>	2,392 <155.8>
特別利益	61 (0.1)	- (-)	△61 <->
特別損失	1,157 (1.2)	<b>283</b> <b>(0.3)</b>	△873 <△75.5>
税金等調整前 四半期純利益	440 (0.5)	<b>3,645</b> <b>(3.8)</b>	3,204 <727.2>
法人税等合計	641 (0.7)	<b>1,111</b> <b>(1.2)</b>	469 <73.2>
非支配者株主利益	46 (0.0)	<b>99</b> <b>(0.1)</b>	52 <111.0>
四半期純利益 (当社株主に帰属)	△247 (△0.3)	<b>2,435</b> <b>(2.5)</b>	2,682 <->

2021年2月期上期

営業外収益 5.1億円  
・持分法投資利益(北京旺洋) 0.5億円

2022年2月期上期

営業外収益 9.2億円  
・持分法投資利益(北京旺洋) 0.7億円  
・PPPローン債務免除益(米国) 3.1億円

2021年2月期上期

特別利益 0.6億円  
・プロシスタス旧本社売却益 0.6億円

特別損失 11.5億円  
・わらべや日洋 岩手工場 減損 7.9億円  
・日洋フレッシュ 減損 2.9億円  
・日洋 減損 0.5億円

2022年2月期上期

特別損失 2.8億円  
・わらべや日洋 岩手工場 減損 2.8億円

\* ( ) 内は売上比率 (%) <> 内は増減率 (%)

# 連結貸借対照表 (前期末比)

(単位：百万円)

【資 産】	2021年2月末	2021年8月末	増減
流動資産	29,433	<b>29,511</b>	78
固定資産	52,840	<b>52,849</b>	9
(有形固定資産)	(44,477)	<b>(44,393)</b>	(△84)
(無形固定資産)	(677)	<b>(544)</b>	(△132)
(投資その他)	(7,685)	<b>(7,911)</b>	(225)
資産合計	82,273	<b>82,361</b>	87

(単位：百万円)

【負債・純資産】	2021年2月末	2021年8月末	増減
流動負債	23,539	<b>22,445</b>	△1,093
固定負債	14,361	<b>13,209</b>	△1,152
(有利子負債)	(11,213)	<b>(10,009)</b>	(△1,204)
負債合計	37,900	<b>35,655</b>	△2, 245
純資産合計	44,372	<b>46,705</b>	2,333
(利益剰余金)	(28,693)	<b>(30,424)</b>	(1,730)
負債・純資産 合計	82,273	<b>82,361</b>	87

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	'22年2月期 上期	(前期末休日影響)	(補正後CF)
税金等調整前四半期純利益	3,645		
減価償却費	2,409		
減損損失	283		
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 1,519		
たな卸資産の増減額 (△は増加)	576		
仕入債務の増減額 (△は減少)	671		
未払金の増減額 (△は減少)	△ 1,124		
その他	△ 1,282		
小計	3,659		
法人税等の支払額	△ 916		
その他	231		
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,974</b>	<b>1,615</b>	<b>4,589</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 1,813		
その他	△ 283		
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,096</b>	-	△ 2,096
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,195</b>	-	△ 2,195
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>87</b>	-	<b>87</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 1,230</b>	<b>1,615</b>	<b>385</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>8,946</b>	<b>△ 1,615</b>	<b>7,331</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>7,716</b>	-	<b>7,716</b>

# 2022年2月期 連結業績予想



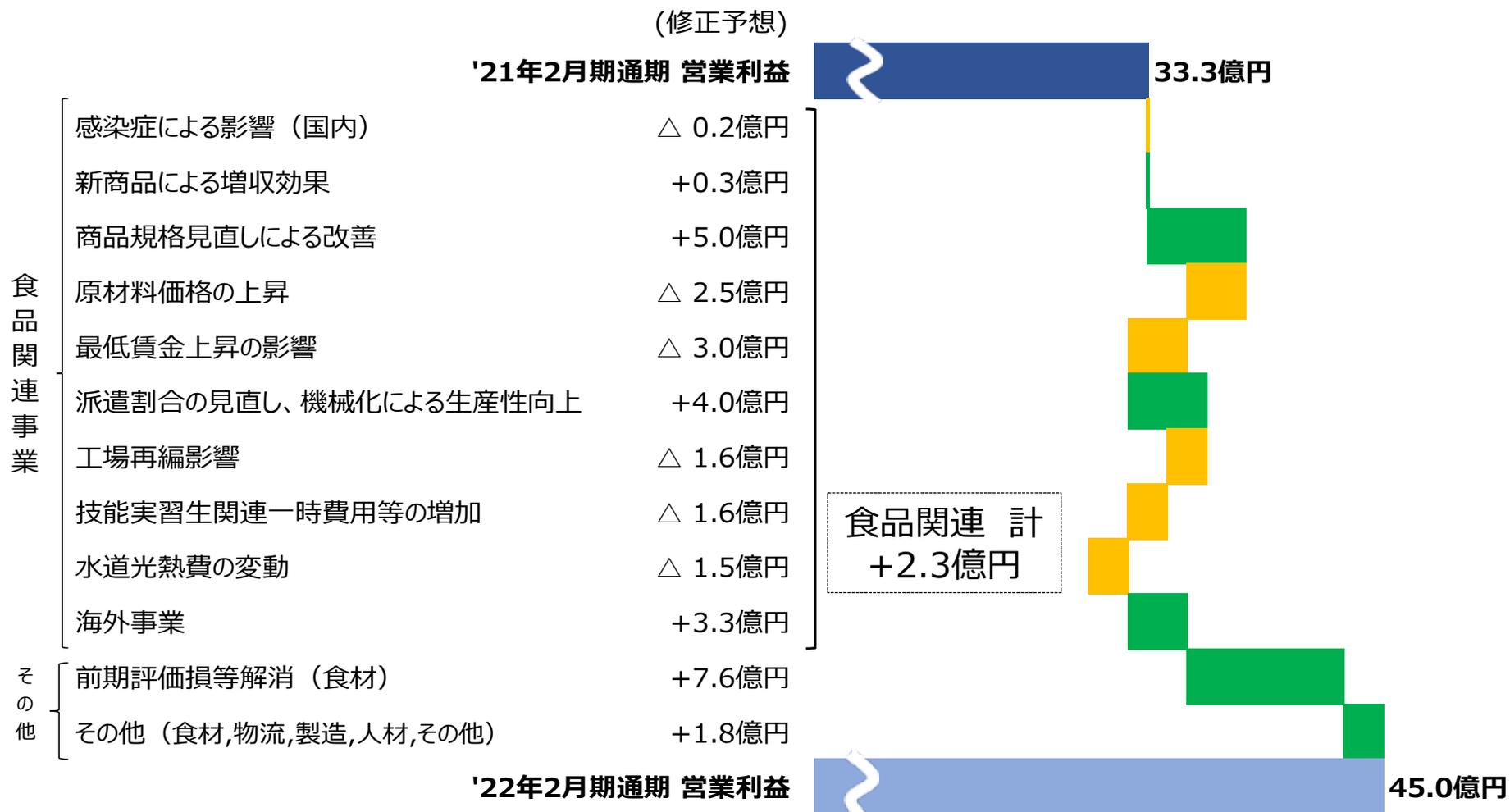
# 2022年2月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	'21年2月期 実績	'22年2月期 期初予想	'22年2月期 修正予想	前期比	期初予想比
売上高	194,309 (100.0)	198,000 (100.0)	<b>192,000</b> <b>(100.0)</b>	△2,309 <△1.2>	△6,000 <△3.0>
営業利益	3,332 (1.7)	4,500 (2.3)	<b>4,500</b> <b>(2.3)</b>	1,167 <35.1>	0 <0.0>
経常利益	3,710 (1.9)	4,900 (2.5)	<b>5,300</b> <b>(2.8)</b>	1,589 <42.8>	400 <8.2>
税金等調整前 当期純利益	2,001 (1.0)	4,550 (2.3)	<b>4,850</b> <b>(2.5)</b>	2,848 <142.3>	300 <6.6>
当期純利益 (当社株主に帰属)	682 (0.4)	2,800 (1.4)	<b>3,200</b> <b>(1.7)</b>	2,517 <368.7>	400 <14.3>
EPS(円) (当社株主に帰属)	39.04	160.42	<b>183.30</b>	144.26	22.88
ROE(%)	1.5	6.2	<b>7.0</b>	5.5Pt	0.8Pt

\* ( ) 内は売上比率 (%)、<> 内は増減率 (%)

# 2022年2月期 連結業績予想 (営業利益増減)



# 上期の進捗と今後の取り組み

# 当社グループの課題と中期戦略

## 外部環境の変化

- 中食市場における競争構造変化（外食持帰り、宅配サービスとの競合等）
- 感染症影響長期化による生活様式の変化
- セブン-イレブンの国内出店政策の変化、海外展開強化
- 原材料、人件費、物流費の上昇リスク

## 成長に向けた内部の課題

- 売上高の持続的成長
- 商品開発力、生産技術力の更なる向上
- 製造コスト増加への対応
- 食品関連以外の事業の収益性向上
- グループガバナンスの強化



## 持続的成長に向けた中期戦略

- 1 国内食品事業の収益拡大と成長カテゴリーへの参入
- 2 食品関連以外の事業の収益性向上
- 3 海外事業の拡大（米国、中国を中心に加速）

## ➤ 食品関連事業の組織再編

食品関連事業を担うわらべや日洋の事業を国内事業と海外事業に分割

- 目的
- ① 国内、海外それぞれの課題に対する対応力強化
  - ② 意思決定の迅速化と責任の明確化
  - ③ ノウハウの蓄積加速や専門人材の最適配置等による効率化

食品関連事業 組織概要



# ①国内食品事業の収益拡大

## ➤ 生産体制再構築による収益改善

目的：・赤字工場閉鎖による利益改善

・移管先工場の稼働率向上、効率化

・今後の商品構成変化を見据えた選択と集中

● 入間工場 2019年10月 閉鎖（ 近隣工場への生産移管 ）

● 栃木工場 2020年 2月 閉鎖（ 同上 ）

● 摂津工場 2021年 5月 閉鎖（ 同上 ）

● **新潟工場 2022年 3月 閉鎖予定（ 株）デイリーはやしやに事業譲渡**

'21年2月期（実績）： 増益効果は約10億円※

'22年2月期（見通し）：（摂津工場）約3億円の増益効果

（新潟工場）約5億円の閉鎖関連費用計上

※前期発生した一時費用の剥落約5億円を含む

# ①国内食品事業の収益拡大

## ➤ 適正利益率の維持、向上



### ● 商品規格の見直し

- 材料、製法を見直し、商品の価値を向上
- 定期的な価格交渉の実施（外部環境変化にタイムリーに対応）
- 生産効率を意識した商品開発

### ● 収益構造の見直し

- 要員適正化、派遣割合の見直し  
(派遣割合：'21年2月期 上期 28% ⇒ '22年2月期 上期 20%、△8%の低下)
- 省人化機械の導入促進  
'22年2月期の営業利益増益効果は、約1億円の見通し

# ①国内食品事業 成長カテゴリーへの参入

## ➤ 新しい生活様式の変化への対応、新商品開発の強化

- 長鮮度の商品ニーズに対応したスタンドパウチ（セブンプレミアム）商品発売とアイテム数拡大に注力



2021年5月発売開始



2021年7月発売開始

## ➤ 成長カテゴリーへの注力

- チルド米飯やデザートなどの生産体制強化
- M&A含め、新しいカテゴリーへの参入検討

## ②食品関連以外の事業の収益性向上

### ➤ 食材関連事業の再構築

(株)日洋：2021年2月期からの赤字脱却が急務

- ✓ 不採算取引からの撤退と価格交渉による粗利率改善
- ✓ コスト構造改革（保管料、運搬費、人件費等の固定費削減）



粗利率改善と固定費削減で上期黒字化、通期黒字見通し

### ➤ 物流関連事業の収益改善

売上一部回復効果および取引価格の見直しにより増益

### ➤ 人材派遣関連事業からの撤退

グループの「選択と集中」の方針から2021年6月撤退完了

### ③海外事業の拡大

#### ➤ 海外既存事業は好調に推移

- 各社とも前年同期の感染症の影響から売上高は回復傾向
- 売上高回復により営業利益も各社増益  
(米国2社合計営業利益は約6億円)
- U.S.A. (ハワイ) は、'20年11月から稼働した新工場も増収に寄与

#### ● WARABEYA TEXAS

(単位:上段千ドル、%、下段百万円) \* <> 内は増減率

TEXAS	'19年12月期 上期 実績	'20年12月期 上期 実績	'21年12月期 上期 実績	'20→'21 増減
売上高	14,303	14,913	16,664	1,751 <11.7>
	1,541	1,606	1,842	236

#### ● WARABEYA U.S.A. (ハワイ)

(単位:上段千ドル、%、下段百万円) \* <> 内は増減率

USA	'19年12月期 上期 実績	'20年12月期 上期 実績	'21年12月期 上期 実績	'20→'21 増減
売上高	19,351	17,755	21,428	3,673 <20.7>
	2,085	1,915	2,369	454

#### ● 北京旺洋 (持分法適用関連会社)

(単位:上段千円、%、下段百万円) \* <> 内は増減率

旺洋	'19年12月期 上期 実績	'20年12月期 上期 実績	'21年12月期 上期 実績	'20→'21 増減
売上高	68,239	68,533	89,369	20,836 <30.4>
	1,069	1,043	1,529	485

### ③海外事業の拡大

#### ➤ 米国東海岸エリアへの事業進出（2021年7月公表）

- 7-Eleven, Inc.の東海岸エリアにおけるフレッシュフード強化の事業パートナーとして、バージニア州に工場新設を決定
- ハワイやテキサスで培ったノウハウ・人材を活用し、新エリアでの事業を構築
- 海外には積極的に経営資源を配分する方針

#### 投資概要

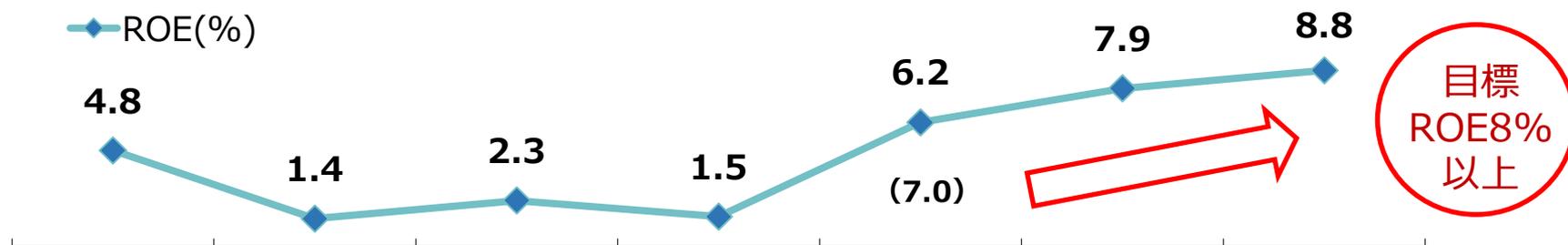
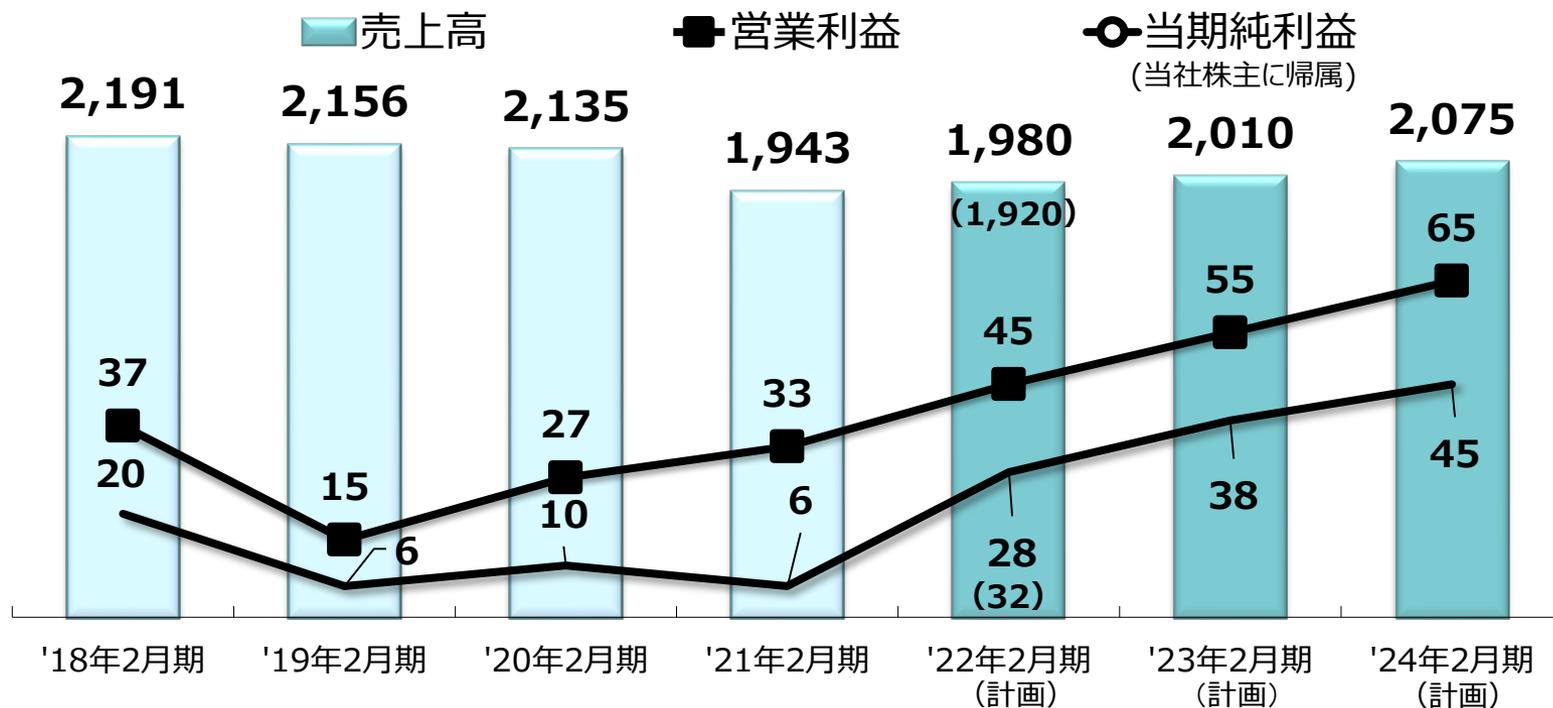
(1) 所在地	バージニア州スタフォード
(2) 延床面積	126,984sqf (11,797m <sup>2</sup> )
(3) 投資総額	約44百万ドル (約48億円)
(4) 想定納品店舗数	約1,350店舗 (バージニア州周辺)
(5) 稼働時期	2023年3月
(6) 製造品目	調理パン、軽食 等



# 中期経営計画

2021年4月公表

(単位：億円)



注) '22年2月期の ( ) 数値は、2021年10月7日公表の修正業績予想

◆ 問い合わせ先 : わらべや日洋ホールディングス (株)  
経営企画部

e-mail : keiei-kikaku@warabeya.co.jp

TEL : 03-5363-7194

本資料には、当社の本資料作成時点における計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれています。この「将来予測に関する記載」には本資料発表時点までに入手可能な情報に基づいた当社の経営判断や前提が述べられており、諸与件の変化により実際の業績が「将来予測に関する記載」とは異なる可能性があります。したがって、本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来にわたって正確であることを保証するものではありません。